

2018年

244号

9月19日(水)



全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

長ひやむぎと 手作りサラダで 暑さを吹き飛ばせ!

課題も残った暑気払い&誕生会

8月29日12時から伊原新田集会所で「暑気払い&誕生会」を行いました。23名が参加しました。2ヶ月以上も続いた猛暑のせいか、参加者の数は今まで40名前後から見ると少ないです。座席はいつも以上に空席が目立ちました。



足立秀機副支部長の司会で開会、吉田健治支部長の挨拶のあと、会場を借りて頂いた地元の大久保勝治さんの音頭で「カンパニー」。その後、我が年金者組合員でもある金子まさえ県会議員をトップに、三人の市議会議員が順番に挨拶。あとは大和田哲さんからマイクが廻り、自己紹介を兼ねて各自が話したいことを話すという形で「暑気払い」は進行。当初は「自己紹介」を1分程度で廻す予定でしたが、そこは70年80年生きてきた人生。自分が考えていることを一言は話したい面々。つい話に力が入り、原発再稼働、水害対策、沖縄県知事選、オスプレイと日米地位協定など、やや堅そうな話から、旅行の楽しみ、地域での付き合いの話、初めて年金をもらった、ピロ菌のこと等々、話があつちこつちへ飛び回り、まとめようにもまとめられない

言いたい放題。でも、それぞれ何を考えているかはある程度理解し合うことができました。

「暑気払い」のメインデッシュはシェフ初登場、エプロン姿がなかなか似合った山本副支部長による「キュウリ・トマト・豆腐・カブ・アーリーレッド・オリーブオイル、青じそノンオイル」のあつさりサラダ。デビュー作にしては意外?の評判でした。

ひやむぎ茹では、吉田和子さん・宇佐美とし子さん・大久保弘子さん。めんつゆは吉田和子さん手作り、茹で卵の差し入れと合わせありがとうございました。

他に、大久保ご夫妻からとっても甘い茹で栗、川原利雪さんからキュウリ等の野菜、酒類(日本酒、ワインなど)は伊東正人さん、和田幸雄さん、五十嵐光範さん、船山幸吉さんから戴き、飛山幸夫さんからはカンパも戴きました。ありがとうございました。

気がつけば2時間以上が経過。「誕生会」の本番、6・7・8月生まれの方々にかわい鉢植えを手渡しして「ハイ、パチリ」。最後は全員の集合写真を写して「暑気払い」はお開きに。みんなで後片付けをして午後2時半過ぎに解散しました。

なお、いつもより参加者数が少なかったことについて、執行委員会でも検討してみたいと思います(山本)



三宅宗義
飛山幸夫
宇佐美とし子
松本弘子
吉田健治
(以上誕生日の皆さんです)

点晴

越谷の防災対策は
十分か?

地球温暖化の影響か、毎年日本のどこかで災害が発生していますが、越谷市は大丈夫でしょうか。

坂東太郎(利根川)や、荒れ狂う川(荒川)が元々流れていた土地が越谷市付近です。2018西日本集中豪雨、岡山県倉敷市真備町で起きた堤防決壊による浸水被害は、越谷市がおかれている状況とより二つに写りました。被害に遭われた人が「まさかこんなに浸水すると思わなかった」「長年住んでいて初めてだ」等テレビ報道でされていました。

水害が起こると、水害ハザードマップを日頃から見て、避難ルートを調べておく、伝えてください、と、マスコミ等が盛んに宣伝しています。

越谷市の場合、利根川が決壊したときハザードマップでは、0.5m~5m以上の浸水想定区域が、越谷市の8割以上となっており、又避難場所と指定されている場所の多くが浸水区域内にあります。東京都は荒川が決壊したら、100万人以上が避難する必要がありますが、広域避難のシミュレーションを行っています。問題が多数あるようです。

越谷市でも避難場所を避難しても、避難場所の一階が浸水してしまう箇所が多々あり、避難場所での救助を待つ事態になりかねません。人命優先の観点から、マンション等の高い建物と緊急避難場所の協定を結ぶとか、広域避難を検討する必要があります。

当面、現在の避難場所は誰でもわかるように、想定浸水高を表記し、地域の人たちに周知、啓発を行うことが重要ではないでしょうか。(和田幸雄)

「年金フェスタ」に参加しよう

会場	日時	集合時間	集合場所
日比谷野外音楽堂	10月19日(金)	13時開会	新越谷駅上りホーム
		10時30分	最後尾(交通費補助)

次回の宣伝行動 10月17日(水曜日) 12時~13時 南越谷南口